



最難関問題

間を空けた椅子の選び方

椅子が横一列に何脚か並んでいます。椅子に座る際は、隣りに人が座らないようにします。下の図では、 8脚の椅子に3人が座っています。3人は、左から1、5、7番目の椅子に座っています。このように、人が座る椅子の選び方について、以下の問いに答えなさい。



- (1) 10脚の椅子に4人が座る椅子の選び方は何通りありますか。
- (2) 何脚かの椅子に4人が座る椅子の選び方は4845通りありました, 椅子は何脚並んでいますか。
- (3) 19脚の椅子に何人かが座る椅子の選び方は3003通りありました。何人の人が座りますか。

受験算数の基礎



最難関問題

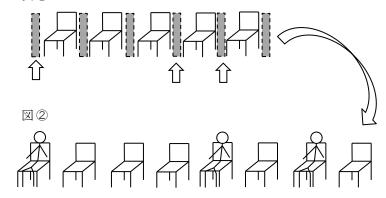
間を空けた椅子の選び方 (1) 35通り (2) 23脚 (3) 6人

(1) 解説略

(2) 問題文にある、8脚の椅子に3人が座る場合について考えてみます。8脚の椅子のうち、

8-3=5(脚)の椅子には人が座りません。そこで、まず図①のように人が座らない5脚の椅子を並べ、両端および椅子と椅子の間の6か所から3か所を選んで、人が座る椅子をさしこむことを考えます。

図(1)



よって、図①の場合は人が座る椅子の選び方は6 $C3 = \frac{6 \times 5 \times 4}{3 \times 2 \times 1} = 20$ (通り)です。また、(1) の場合は人が座らない椅子が10-4=6(脚)あるので、

(6+1) C 4 = $\frac{7 \times 6 \times 5 \times 4}{4 \times 3 \times 2 \times 1}$ = 35 (通り) と求めることができます。

(n+1) C 4 = $\frac{1}{4 \times 3 \times 2 \times 1}$ = 4 8 4 5 の場合, 4 8 4 5 = 3 × 5 × 1 7 × 1 9 なので,

3×5×17×19×4×3×2×1を4個の連続する整数の積の形に直すと,

 $20 \times 19 \times 18 \times 17$ となるので、n+1=20です。空席はn=19(脚),椅子はぜんぶで,4+19=23(脚)です。

受験算数の基礎

Die Grundlagen der Arithmetik für die Aufnahmeprüfung

最難関問題

(3) (n+1) Cr=3003で, n+r=19です。よって, 19C1, 18C2, 17C3, …のうちで3003となるものを探せばよい, という事になります。素因数分解をすると,

 $3003=3\times7\times11\times13$ なので、(n+1) C r を計算する際分子に13や11が現れる必要があります。その可能性があるのは、

1 3 C 7 =
$$\frac{1 \ 3 \times 1 \ 2 \times 1 \ 1 \times 1 \ 0 \times 9 \times 8 \times 7}{7 \times 6 \times 5 \times 4 \times 3 \times 2 \times 1},$$

$$1 \ 4 \ C \ 6 = \frac{1 \ 4 \times 1 \ 3 \times 1 \ 2 \times 1 \ 1 \times 1 \ 0 \times 9}{6 \times 5 \times 4 \times 3 \times 2 \times 1},$$

$$1505 = \frac{15 \times 14 \times 13 \times 12 \times 11}{5 \times 4 \times 3 \times 2 \times 1}, \ \text{0300};$$

このうちで3003になるのは1406の場合なので、6人です。